



## はじめに

---

札幌市長 上田 文雄

札幌市では、国が示したひとり親家庭等の生活の安定と向上のための「基本方針」に基づき、「札幌市母子家庭等自立促進計画」を平成17年度（2005年度）に策定し、平成19年度（2007年度）までの3カ年計画として、ひとり親家庭等への支援を実施してきました。

札幌市の離婚件数は、平成13年（2001年）をピークに近年は減少傾向にあるものの、離婚率は依然高く、母子家庭や父子家庭のひとり親家庭が増加しています。

市民のだれもが安定した日常生活を営むことは大切なことでありますが、ひとり親家庭は子育てと生計の担い手という二つの役割を一人で担っており、子どもの養育、住居、収入など日々の生活においてさまざまな困難に直面しています。

このような中、平成20年（2008年）4月に国から新たな「基本方針」が示されたことを受け、札幌市では、ひとり親家庭等の自立支援策を総合的かつ計画的に展開するため、平成24年度（2012年度）までの新たな計画を策定しました。

これからは、この計画を通して、ひとり親家庭等の皆さまに対する自立への支援を推進していくとともに、明日を担う子どもたちが未来に希望を持ち、元気に育つことを願い、ひとり親家庭等の自立を、地域全体として支え合う環境づくりを進めていきたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、この計画の策定に当たり、平成19年（2007年）10月に設置した「札幌市母子家庭等自立促進計画検討協議会」の委員の皆さまにご尽力いただいたほか、多くの市民の皆さまや関係機関、母子福祉団体等の方々から貴重なご意見、ご提言をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

平成20年（2008年）5月